



デセプション島ベイリー岬

南緯65度58分 西経60度30分

ヒゲペンギンの南極最大のコロニーがある天然の円形競技場

visitor site guide

主な特徴

- ヒゲペンギン
- 景勝地



概要

| | |
|----------|--|
| 地形 | ベイリー岬はデセプション島の南東岸にあり、ブランスフィールド海峡に突き出した岩だらけの岬である。ここは、デセプション島の東側の大部分を走る長くまっすぐな浜の南端と、半円形の稜線へと内陸に深く切れ込んで、天然の「円形競技場」のような印象を与える狭い谷から成っている。北は大きな氷河に接し、南はベイリー岬の崖へと続いている。南半球の夏には、大量の雪解け水が谷の中央を流れる。繁殖期には雪解け水の流れに沿って、海へと下るペンギンと巣へ戻るペンギンの「主要道路」ができる。 |
| 動物相 | 繁殖が確認されている種：ヒゲペンギン(<i>Pygoscelis antarctica</i>)、チャイロオトウソクカモメ(<i>Catharacta antarctica lonnbergi</i>)、マダラフルマカモメ(<i>Daption capensis</i>)、サヤハシチドリ(<i>Chionis alba</i>)。オオフルマカモメの成鳥及び幼鳥(<i>Macronectus giganteus</i>)も生息していると考えられる。 定期的上陸：ナンキョクオットセイ(<i>Arctocephalus gazella</i>)。 |
| 植物相 (植生) | ベイリー岬には、緑藻類のナンキョクカワノリ(<i>Prasiola crispa</i>)が豊富にある。地衣類4種、コケ類6種と、顕花植物ナンキョクミドリナデシコ(<i>Colobanthus quitensis</i>)も記録されている。 |
| その他 | ベイリー岬は、第4南極特別管理地区デセプション島の一部である。 |

訪問者の影響

| | |
|-------|---|
| 既知の影響 | なし。 |
| 潜在的影響 | 野生生物の攪乱 (訪問者のいられる場所が狭いため)。植生の踏みつけとそれに伴う小道の形成。ヒゲペンギンのコロニーが減少傾向にあり、人間干渉の影響を受けやすい。 |

上陸要件

| | |
|-----|---|
| 船舶* | 乗客200名以下の船舶 (次の「訪問者」の項も参照)。一度に1隻の船舶に限る。1日あたり (午前0時から翌午前0時まで) 2隻以内とする。 |
| 訪問者 | 探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100名以内。1日あたりの訪問者は350名以内。訪問者20名あたりガイド1名。22時から4時 (現地時間) の間は上陸できない。これは野生生物の休息時間確保のためである。 |

訪問地区

| | |
|-----------|--|
| 上陸地区 | ペンギンのコロニーのすぐ前の海岸。上陸海岸には大きなうねりや波がくることが多く、上陸できない場合があること留意する。 |
| 閉鎖地区 | 閉鎖地区A：崖のふもと。落石を避けるため。 閉鎖地区B：氷河壁。落氷を避けるため。 閉鎖地区C：ベイリー岬の南側の急な斜面の上部。岩や土壌の攪乱、および植生の損傷を避けるため。 |
| ガイド付き徒歩地区 | コロニーへの訪問は、よく指示に従って、15人以下の少人数グループで行うこと。1グループにつき少なくとも1人のガイドが同行し、十分な間隔をとること。各グループとも、同じ道を通ること。コロニーと海岸の間を流れる雪解け水の主流に沿った狭い道を通るときは、訪問者は15人以下のグループで行動し、しっかりとガイドの指示に従うこと。訪問者は、個々の繁殖集団の自然の「境界線」の中には入らないこと。 |
| 自由散策地区 | 訪問者は、上陸海岸のうち、崖とペンギン・ハイウェイ (巣と海とを結ぶ確立した経路のこと) の起点に挟まれた部分を自由散策することが許されているが、ペンギンとの間に十分な距離を保ち、追いたてることにならないようにすること。また、ペンギンに道を譲るように注意すること。 |

*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



デセプション島ベイリー岬

南緯65度58分 西経60度30分



訪問者の行動規範

上陸後の行動

訪問者は、南極訪問者ガイドラインとデセプション島管理行動規範に従って行動すること。コロニーと浜の間にある雪解け水の流れに沿う細い通りを通り過ぎる際は動物から十分な距離を保つよう特に注意すること。旅行業者は、南極特別管理地区デセプション島を訪れるスタッフ、乗組員、乗客に概要を伝え、管理計画と関連書類の必要条件を理解しているかどうか確認すること。

注意事項

強風や大きなうねりがある場合には、乗客の上陸や乗船がきわめて危険になる。上陸は安全時のみ行うこと。陸に上がったら、上陸地点の海の状態と天候の変化に警戒を怠らず、無事に船舶に戻れるよう注意すること。閉鎖地区AとB近辺では落石に注意すること。

初稿2009年
改訂2013年5月



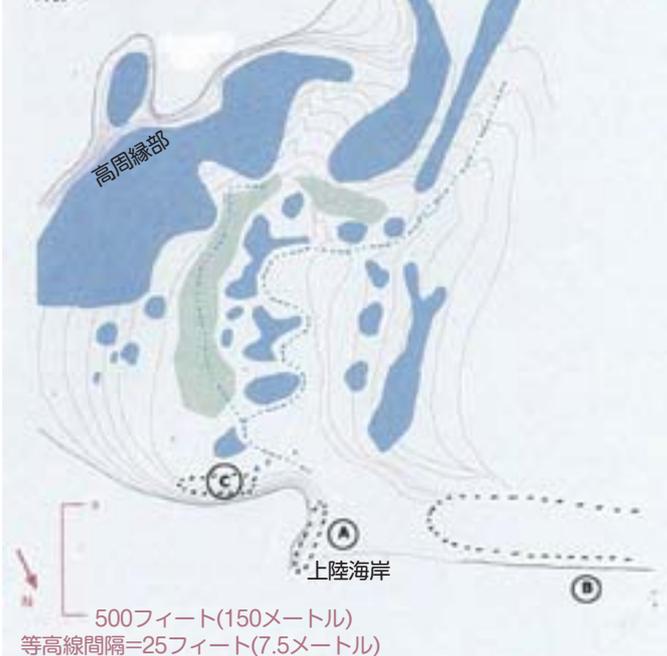
雪解け水の流れに沿ったペンギン・ハイウェイ



上陸海岸

ベイリー岬

-  ヒゲペンギン(およその位置)
-  ナンキョクカワノリ生息地(春後半~夏)
-  雪解け水の流れ(およその位置)
-  閉鎖地区



既存の地図を新しく理解しやすい地図に置き換えることが提案されている。